

ポリクリを終えて

ポリクリを終えて

歯学科5年 三浦祥平



新潟大学では5年生の前期に、臨床実習の前段階として相互実習を中心とした臨床予備実習（ポリクリ）を行います。病院内の様々な診療科をまわり、学生同士で治療を行い合うのです

が、講義や模型実習だけでは学べないことをたくさん体験できました。いくつかの診療科について、実習内容を少しずつ紹介していきたいと思います。

予防歯科診療室

予防歯科診療室では学校などで行われる集団歯科検診の練習を行いました。電気スタンドの明かりで、イスに座った状態の患者様の口の中を診査します。歯科ユニット上で行うのとは大きく異なり、上の奥歯などは全く見えず想像していた以上に難しかったです。

歯の診療室

歯の診療室は虫歯の治療を専門とした診療科です。ここでは麻酔を打つ練習や、歯の神経が生きているかどうかを確認する練習をしました。麻酔は虫歯の治療以外に、抜歯や歯周病の治療にも使用するので他の診療室でも行ったことがあったのですが、クラスメートの口の中に針を刺すのは何度経験してもとても緊張するものでした。

歯周病診療室

歯周病診療室では、歯茎と歯の間の溝である歯周ポケットの深さを測る歯周精密検査の練習をしました。歯周ポケットにプローブと呼ばれる細い棒を差し込み深さを測るのですが、力加減が分からず患者役の学生の歯茎をチクチクと刺して痛い思いをさせてしまいました。もっと練習が必要だ

と思いました。

口腔再建外科診療室、顎顔面外科診療室

一般的に口腔外科と呼ばれる診療科です。こちらでは、歯の診療室で行った麻酔よりも深い所に注射をする伝達麻酔の練習をしました。針を深く刺すことに加えて針自体も太いので、術者として麻酔を打つときも、患者役として打たれるときもとても怖かったです。

画像診断診療室

こちらではレントゲン撮影の練習をしました。歯科用のレントゲンは小さなフィルムを口のなかに置き、頬の外側からエックス線をあてて撮影します。エックス線を当てる向きや角度、フィルムの位置によっては歯がうまく写らないこともあります。難しかったです。自分が撮影したレントゲンを現像し、所定の位置に根までしっかりと写っているのを見たときは感動しました。

歯科麻酔科診療室

麻酔科では、全身麻酔の際に使う笑気ガスを吸う体験をしました。笑気ガスだけでは意識がなくなることはないのですが、酔っぱらったような感覚になり眠くなりました。いつもより饒舌になった人もいました。ガスを吸うのを止めてしばらくするとともに戻りますが、ガスを吸うだけであのような気分になるのは不思議でした。

ポリクリでは、ここで紹介した以外にも様々な診療科をまわり、臨床実習の基礎となる実習を行いました。今現在は病院にでて臨床実習を行っているのですが、力不足なりに実際の患者様の治療をできるのはポリクリでのこの貴重な経験があったからこそだと感じるときがたくさんあります。そして現在行っている臨床実習の経験も、卒業してから生かされてくるものだと思います。そのことをふまえ、ポリクリで経験したことを基礎とし、これからも臨床や勉強に励んでいきたいです。

ポリクリを終えて

歯学科5年 三浦育美



入学してから5年弱、定期的に歯学部二ニュースを読んではいたものの、依頼されそうな雰囲気も全く無かったのでこのまま原稿を書く事無く卒業出来るのではないかと思っていました。が、遂に私にも書く機会がやってきてしまいました。

まず「ポリクリ」とは何かですが、「臨床予備実習」のことで今までは模型に対してしか実習してきませんでした。それを学生間でやったり、患者様を想定してその対応をシミュレーションしたりします。この原稿を書いている今は臨床実習まっただ中なのですが、ポリクリでやったことが日々の診療に直接出てくる事が多々あるので、ポリクリでやっておいて良かったなあとよく思います。また各科を回っていくのでこれまでの講義、実習の良い復習の機会にもなり、9月の末にあるOSCEの勉強にもなります。

ポリクリで印象に残ったのはやはり口腔外科の実習でした。採血の実習では友達と注射を打ち合いますし、副子の実習は痛みが伴う可能性があります。予習をして実習前の休み時間に皆で手順を確認したりしても、いざ注射器を持つと「先生、ここでいいんですよね!？」と何度も確認して先生に見てもらいながら針をすすめてました。ちなみに口腔外科の実習では特に副子が痛いと言っていたのですが、私は念のため痛み止めを飲んだお陰か、ペアの相手の手技が素晴らしかったお陰か、実習後も特に痛む事も無かったので良かったです。

痛かったのは何と言っても歯科麻酔科の伝達麻酔の実習でした。私はなんとなく自分はどちらかというと痛みに強い方なんじゃないかと思っていたのですが、切歯孔伝達麻酔の時は痛くて泣きそうでした。でも相手の子が注射を打っているわけで、いかにも痛い顔をすると相手に申し訳ないから、あまり痛がらないようにしようと思っていた

にも関わらず、痛すぎて思いつき顔をしかめて痛がってしまいました。私はそんなに痛みに強くないみたいです。そして同じ日に下顎孔伝達麻酔もやったと思うのですが、切歯孔伝達麻酔の痛みが強烈過ぎて下顎孔伝達麻酔が痛かったかどうかあまり覚えてません。ちなみにどの実習が痛かったかは結構個人差があるようなので、後輩の皆さんはそんなに心配しなくて良いと思います。

また歯科麻酔科の実習には笑気ガスを体験する実習もあります。笑気ガスを吸うとリラックスして気分が良くなるというように教科書に書いているので、以前から楽しみにしていたのですが私には全く効かなかつたので、しっかり笑気ガスが効いて気持ちよさそうにしている子が少し羨しかったです。

あと加齢歯科の実習も印象に残っています。加齢歯科の実習ではドライマウスの人が使う人工唾液を実際に使ってみたり、摂食障害のある人はどういう形態の食べ物をどういう姿勢で食べれば食べやすいかという事を、実際にお菓子を食べる実習したりととても楽しかったです。

臨床実習中は日々やらないといけない事に追われてかなり時間が早く感じるため、前期にやったポリクリが結構前の事のように感じますが、患者様を前に診療していると一度ポリクリで経験してあることだと、「あ、これはポリクリでやったことがある。」と少し余裕ができたり、「ポリクリの時上手いかない所があったからそこに気をつけよう」とか臨床に直接関わる事をたくさん学べたと思います。なのでポリクリで学んだたくさんの事をいかして臨床実習を頑張っていきたいです。

